

新年のごあいさつ

秩父市長 北堀 篤

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、令和4年の新春を穏やかに迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年、4月の市長選挙におきまして、多くの皆様のご支持をいただき、市長に就任し全力で市政に取り組み、めでました。新年を迎えて、その責任の重さに気持ちを引き締めて市政運営に当たらなければならぬと改めて心に期しております。

さて、令和3年を振り返りますと、就任後の喫緊の課題でありました「新型コロナウイルスワクチン接種」では、秩父郡市医師会の皆様にご協力をいただき、65歳以上の高齢者の方を対象に集団接種および個別接種を5月16日から開始いたしました。

また、コールセンター・LINEともに予約が取りにくい状況にありましたが、年齢を区切って予約を受け付けるなどの改善を行ったことで、順調にワクチン接種が行えるようになりました。秩父地域1市4町で国から配分されるワクチンの受け取りや医療機関への小分け配送、ワクチン接種の予約受け付けなどの業務

を共同で行い、地域内の住民であればどここの接種会場・医療機関でも接種ができる体制づくりを行いました。

文化体育センターで約6カ月間行った集団接種も11月14日に一区切りとなり、2回目接種率も約86%となりました。新型コロナウイルスワクチン接種にご対応いただいた医療従事者、それぞれの窓口業務を担っていただいた方々に感謝を申し上げます。なお、新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）につきましては、2回目接種後、原則8カ月経過した方から順次接種を開始しております。

次に、私のマニフェスト進捗状況を報告いたします。市議会9月定例会「令和3年度秩父市一般会計補正予算第4回」において、「令和4年度の小学校新入学児童に対する入学準備祝金」や「出産および子育てに対する支援としての祝金」が議会で承認されました。今後も、掲げたマニフェストの実現を着実に進めてまいります。

私は、次世代に負の遺産を残さないまちづくりを進め、「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、誰もがチャンスをつかめるまち」秩父市となるよう、日々たゆまぬ努力をしております。本年が市民の皆様におかれまして、幸多い年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

